

広島都市圏

ビデオで学ぶ 「もったいない」

安佐北区のNPO制作

広島市安佐北区のNPO法人「あいあいねっと」が、食べ物の大切さを伝えるミュージックビデオや冊子を作った。食育イベントや親子教室で使い、正しい食習慣や余剰食品を活用するフードバンクの意義をPRする。ミュージックビデオは3分40秒。縫いぐる



人形劇の縫いぐるみや冊子を手にも、食育教室などについて話し合う原田理事長とメンバー

み2体が「ほくのたいせつなきみのからだつくるものなに？」と、スローテンポの歌に合わせ、弁当やみそ汁を仲良く食べたり、踊ったりする内容。活動に賛同した安佐北区のレコード会社「ノベルサウンズ」が制作し、無償提供した。

冊子は、ウサギやアライクマが登場。余った野菜を年老いたキツネや困っている仲間と分け合う。キャラクターの縫いぐるみを作り、4月からは人形劇も上演する予定という。

NPO法人は2008年3月に発足。衛生的には問題のない廃棄食材を集め、福祉施設などに無料提供するフードバンク事業を柱に活動しており、協力企業や食品の提供先も増えている。

原田佳子理事長は「将来を支える子どもに、もったいない精神を理解してもらいたい」と話す。冊子は200部作り、イベントなどで配る。あいあい

ねっと ☎082(819)3023 火、金曜日午前10時～午後3時。

(有岡英俊)